

第6回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会

令和8(2026)年1月19日
於:清和台小学校
午前11時~



はじめに

懇話会の目的

この懇話会では、普段より学校運営にご協力いただいている学校運営協議会の皆さまを中心にお集まりいただき、意見交換やアイデアを出していただく場としています。

地域説明会でもお伝えしたように、めざす教育環境の選択肢の一つに「中学校および特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境」があり、今後、ともに検討を進める必要があるため、今回より川西養護学校の運営協議会からご参加いただき、一緒に話し合いを進めていきたいと考えております。

清和台地区の学校が、子どもたちにとってより良い教育環境になるよう、率直なご意見を聞かせていただければ幸いです。

第6回懇話会のゴール

1. 地域説明会で提示した3パターンの教育環境について、皆さまのご意見をお伺いし、今後の進め方についてアドバイスをいただく。

川西養護学校について

川西養護学校は、川西市及び猪名川町在住の児童生徒が通う特別支援学校です。肢体不自由のある児童生徒を対象とし、一人ひとりの障がいや心身の発達に応じた教育を行っています。必要に応じて医療的ケアも行っています。

1. 川西養護学校児童生徒数(令和7年度12月末時点)

学年	小学部						中学部			高等部			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
人数	2	4	6	2	0	1	0	3	2	1	3	0	24
クラス数	6						2			2			10

《居住地》

・川西市在住 ……15名 ・猪名川町在住… 9名

2. 校舎について

- ・建築年度 1977年(昭和52年)
- ・経過年数 48年

【参考 川西市公共施設総合管理計画(R7.9)】

目次

1. 地域説明会での意見等について

- (1) ひとつの学校にすることについて
- (2) 通学支援、まちづくりについて
- (3) その他の意見について

2. 川西養護学校・けやき坂小の学校運営協議会での意見について

3. 今後の清和台地区の教育環境について

4. 今後の意見交換について

(1)ひとつの学校にすることについて

質問

①今後の児童数推計を見ていると、2校がひとつになっても単学級になる可能性が出てくると思うが、小中一貫校なども検討しているのか。小中一貫校のメリットも教えてほしい。

⇒児童数は減少傾向のため、今後、単学級になる可能性がある。そのため、**小学校2校のみで考えるのではなく、小中一貫校とし、中学生も一緒に校舎で学び、縦のつながりを充実させるという考え方もある。**小中一貫校のメリットとしては、小学生は中学生の姿を身近に感じることで学びのモデルを知り、中学生は小学生に優しく接することで思いやりの心を育むなど、良い効果が期待できる。

また、9年間で一貫したカリキュラムが組めることもメリットだと考えている。

②統合することで、先生の負担がどれだけ減るのか。

⇒複数で学年を見ることが出来るので、学年運営や行事がより円滑に進められ、教職員が増えることで校務分掌の1人あたりの負担が軽減される。

③新しい学校のスタートは何年後に設定しているのか。

⇒3パターンのどれになるかによって時期が異なる。**増築などの工事が必要な場合は、設計、工事などを考えると、決定してから丸3年以上はかかる。**

(1)ひとつの学校にすることについて

意見

- ①子どもも先生も少ない状態で続けるのは良くないと思うので、統合には賛成。スクールバスなど、通学支援は考える必要がある。
- ②川西養護学校と一緒に校舎にすることは、養護学校の子も、もっと交流することを望んでいたため、とても良いと思う。
- ③清和台のまちづくりの観点でも、新しい学校が子どもたちにとって魅力的な学校になるように進めてほしい。
- ④子どもの意見の中には反対の意見もあると思うので、先生方にもフォローしていただき、不安がなくなるように、両校の交流をできるだけ多く開催してほしい。

(2)通学支援、まちづくりについて

質問

- ①スクールバスを走らせる予定もあるとのことだが、どのような運用方法なのか。
⇒まだ、スクールバスを運用すると決まったわけではないが、選択肢のひとつとしている。運行時間などの詳細については、今後、保護者のニーズを聞きながら相談して決定していきたい。

質問・意見

- ①今後、まちづくりに関してはどのように進めていくのか。
⇒今後、コミュニティの方々と、どのように進めていくのかも含めて、相談していきたいが、
市長部局が中心となり、地域の方の意見を聞く場をつくっていく。
- ②川西市や清和台のまちづくりの方向性などが決まっていれば教えてほしい。
⇒市全体としての考え方は、全国的な少子化に合わせたまちづくりを進め、公共施設も集約化していくというコンセプトである。学校の統合に関しても、子どもが減ったから統合するというマイナスの考え方ではなく、魅力的な学校を作っていくことをめざしたい。
- ③小学校は地域の核であり、避難所でもある。そのあたりも含めて考えてほしい。

(3)その他の意見について

質問

- ①子どもたちが授業を受けて意見交換をしていたのが良かった。学校規模を大きくすることについて、子どもたちの賛成、反対はどのような割合なのか教えてほしい。
⇒どちらの意見も出ていたが、だいたい6:4で賛成の意見が多かった。
- ②けやき坂小も児童数が減ってきていると思うが、一緒に考える必要があるのではないか。
⇒けやき坂小は検討する対象校ではないが、同じ中学校区のため、学校運営協議会には現時点での検討状況を説明に行った。
- ③2つの学校を1つにした場合の予算はどの程度かかるのか。コスト面でもメリットはあるのか。
⇒小学校1校あたりの運営にかかる予算は7000万程度のため、2校が1つになれば、その分が削減できる。また、統合の際にかかるコストに関しては、校舎の増築が必要かによって変わってくる。

目次

1. 地域説明会での意見等について

- (1) ひとつの学校にすることについて
- (2) 通学支援、まちづくりについて
- (3) その他の意見について

2. 川西養護学校・けやき坂小の学校運営協議会での意見について

3. 今後の清和台地区の教育環境について

4. 今後の意見交換について

川西養護学校(11月27日)

第2回地域説明会の資料を用いて、学校運営協議会で説明。
Cパターンとなった場合、川西養護学校も一緒に検討していく旨を伝え、意見を伺った。

川西養護学校の方の意見

- ①川西市中心部から離れていて、放課後等デイサービスを断られたことがあったため、新学校を検討する際は、場所も含めて検討してほしい。
- ②猪名川町からの通学を考えると、清和台は中間地点で良いが、医療・福祉との連携には課題がある。
- ③川西養護学校はこれからも清和台地区で共存していくと考えている。(清和台住民の方)
- ④C案が望ましい。毎日同じ敷地内で顔を合わせることによってお互いの理解が深まり、障がいのある方が安心して暮らせる社会へとつながると感じる。
- ⑤地域の中に障がいのある子どもが当たり前にいるということになってほしい。

けやき坂小学校(11月20日)

第2回地域説明会の資料を用いて、学校運営協議会で説明。小中一貫校となった場合の影響について伝え、意見を伺った。

けやき坂小学校の方の意見

- ①清和台地区の状況は理解し、小中一貫校の可能性についても把握した。現時点では、懇話会に参加することはしなくても良いと考えている。
- ②けやき坂小の児童数が減ってきていることも確認した。今後、単学級ができ、検討の対象になった際には、再度、地域に説明をしてほしい。

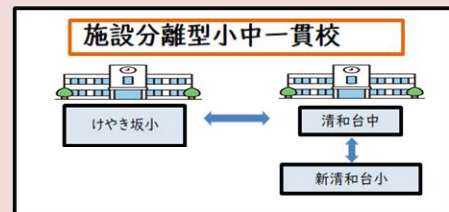
施設分離型小中一貫校

清和台中学校、新清和台小(仮称)、けやき坂小の3校で施設分離型の小中一貫校として運営する。

☆けやき坂小は運営場所は変わらない。

☆3校で小中一貫校となるため、9年間を通じた教育課程を編成する。

☆中学校教員の乗り入れ授業なども可能な範囲で実施する。



意見や感想等について

説明させていただいた『地域説明会での意見等』や『川西養護学校・けやき坂小の学校運営協議会での意見』についての感想やご意見、周りの方々の反応などがあれば、お聞かせいただければと思います。

目次

1. 地域説明会での意見等について

- (1) ひとつの学校にすることについて
- (2) 通学支援、まちづくりについて
- (3) その他の意見について

2. 川西養護学校・けやき坂小の学校運営協議会での意見について

3. 今後の清和台地区の教育環境について

4. 今後の意見交換について

今後の清和台地区の教育環境について

教育委員会の考え

「川西市立学校のあり方基本方針」に基づき、清和台小学校と清和台南小学校の児童がひとつの学校でともに学ぶ環境をめざす。その運営場所や開始時期に関しては、今後、少子化が見込まれる状況において、清和台地区の子どもたちが将来にわたって質の高い教育を受けられるように、引き続き、保護者や地域の意見を聞きながら進めていく。

具体的な理由

1. 学校教育においては、子どもたちがそこに集う人々を含め、多様な価値観に触れ、互いを認め合い、協力し合う経験を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす教育環境をつくるのが重要である。このような教育環境を実現するためには、ひとつの学校でともに学ぶ環境が望ましい。
2. 各学年が複数クラスとなり、人間関係の固定化を防ぎ、トラブルが発生した場合でも関係の再構築に繋げることができる。
3. 清和台地区内は、児童が通学可能な距離である。また、必要に応じて通学支援を行うことで、環境の変化により通学の負担が大きくなる児童に対応できる。

今後の清和台地区の教育環境について

①教育環境と運営場所について

清和台小学校と清和台南小学校の2校がひとつの学校でともに学ぶ環境として、以下の3パターンの教育環境を中心に検討し、それが実現できる場所を選択していきます。

A 小学校のみの基本的な教育環境

B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境

C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

今後の清和台地区の教育環境について

A案のメリット・デメリットについて

A 小学校のみの基本的な教育環境

メリット

- ①新しい学校の開校までの期間が短くなる。(既存の校舎を活用することで、大規模な増築工事が不要なため)
- ②運営が小学校に限定されるため、教育方針の決定や教職員体制の構築が効率的に進めやすい。

デメリット

- ①統合後も、児童数はさらに減少すると見込まれており、近い将来に再び同じ問題が生じる可能性が高い。

今後の清和台地区の教育環境について

B案のメリット・デメリットについて

B 中学校とのより密接な連携が可能な教育環境

メリット

- ①中学生が身近にいることで、小学生は将来の自分をイメージしやすくなる。また、中学生が小学生と関わることで、思いやりの心を育むことにつながる。
- ②中学校進学後も慣れ親しんだ環境で学ぶことができるため、小学校から中学校への移行がスムーズになる。
- ③9年間を見通した一貫した教育課程を編成することで、小学校と中学校の指導内容を柔軟に入れ替えたり、「英語科」や「ふるさと科」などの特色あるカリキュラムを設けることができる。
- ④児童生徒を9年間にわたり同じ環境で見守れるため、一人ひとりをより深く理解することができる。また、小学校と中学校の教員が交流を行い、校種を超えた乗り入れ授業を実施することで、それぞれの専門性を活かした指導が可能になる。
- ⑤小中学生が同じ学校で学ぶことで、学校規模が小さくなった場合でも関わる人数を確保することができる。

デメリット

- ①施設の増築が必要になり、A案に比べて開校までに時間がかかる。

今後の清和台地区の教育環境について

C案のメリット・デメリットについて

C 中学校及び特別支援学校との多様な学びが可能な教育環境

B案の **メリット** ・ **デメリット** に加えて

メリット

- ①多様な人々と関わることで、お互いを尊重したり思いやったりする心を育むことができる。
- ②川西養護学校の子どもにとっては、同年代の友達と過ごすことが刺激になり、意欲や社会性の向上にもつながる。また、市長・教育長との意見交換会で児童生徒から「もっと自分たちの活動を知って欲しい」との声があり、同じ学校になることで交流の機会を増やすことができる。
- ③小学校、中学校、特別支援学校が一つの学校で学ぶことで、多くの子どもや保護者・地域の人々が関わり、多様な価値観に触れられる教育環境が実現する。

デメリット

- ①送迎車両が増加し、動線や教室配置など、施設面において調整が多くなる。

今後の清和台地区の教育環境について

ただ今お伝えしましたA案からC案のメリット・デメリットを踏まえて、各案についての皆さまのお考えをお伺いしたいと思います。

懇話会の皆さまのご意見をぜひお聞かせください。

目次

1. 地域説明会での意見等について

- (1) ひとつの学校にすることについて
- (2) 通学支援、まちづくりについて
- (3) その他の意見について

2. 川西養護学校・けやき坂小の学校運営協議会での意見について

3. 今後の清和台地区の教育環境について

4. 今後の意見交換について

今後の意見交換について

川西養護学校

保護者

1. 川西養護学校を新しい校舎にする際の学校の場所の希望について、保護者の意向を確認する。
2. 仮に小学生や中学生と同じ校舎での教育環境になった場合の期待や不安を聞く。
3. 新校舎建設や老朽化対策を実施する際に、仮設校舎として別の学校を使用する可能性があることを伝え、意見を伺う。

毎月実施している保護者サロンにて説明をし、意見交換会を実施する。

2月10日 保護者サロン、2月24日 音楽コンサート、2月中 授業参観、個人懇談

児童

1. 小学校、中学校と一緒に学校になることについて、どのように感じるか意見を聞く。

3学期中 意見交換会

教職員

1. 3つのパターンについて、意見を聞く。

3学期中 意見交換会

今後の意見交換について

清和台小・清和台南小

保護者（未就学児含む）

1. A案～C案のメリット・デメリットを伝える。
2. 3つのパターンについて、意見を伺う。

授業参観後や休日、入学説明会時に説明のうえ意見交換を実施する。

日程	開催		イベント	対象		周知方法
				小学校保護者	未就学児保護者	
2月5日(木)	清和台小		授業参観	○		ミマモルメ
2月4日(水)	清和台南小	3～6年		○		ミマモルメ
2月19日(木)		1,2年		○		ミマモルメ
3月1日(日)	清和台公民館		日曜日説明会	○	○	ミマモルメ、チラシ未就学児保護者全戸配布
3月6日(金)	清和台小		入学説明会		○(新1年生)	日程は周知済み
3月6日(金)	清和台南小				○(新1年生)	日程は周知済み

今後の意見交換について

清和台小・清和台南小

児童

1. ひとつの学校になることに対する期待や不安を聞く。
2. 仲良くなるために、どのような交流をしたら良いか聞く。

4年～6年で授業を実施。教育委員会が決定した方向性を伝える。

☆児童へ問いかける内容

- ① 楽しみなこと、心配なこと
- ② おたがいの小学校が仲良くなるためのアイデア
- ③ 3パターンについての意見や感想

清和台小 2月2日(月)

清和台南小 1月26日(月)

教職員

1. 3つのパターンについて、意見を聞く。

4月 意見交換会